

学校教育目標



自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成
 - 多様な他者と協働し、未知の世界を切り拓く人材の育成 -

めざす学校像

- 子どもの輝く学校
- 教職員の輝く学校
- 地域と連携する学校

めざす児童像

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子

めざす教師像

- 子どもとともに学び続け、教育に生きがいをもつ活力ある教師
- 自己研鑽に努め、教育力のある教師
- 保護者・地域に信頼される教師

令和5年度の重点目標

知・徳・体のバランスのとれた人間性豊かな子どもの育成

確かな学力

- ①学習の基盤づくりと、基礎・基本の定着
 - 学習の基盤となる学級・学習規律を確立する。
 - 1人1台端末を活用し、ICT・情報活用能力を育てる。
 - 家庭学習を習慣化し、基礎・基本の定着を図る。
 - 読書活動の推進と、読書の生活化を図る。
- ②思考力・判断力・表現力の向上
 - 「めあて」から「まとめ」まで思考・判断する場面を設定し、最後に学習を振り返り自己評価する。
 - 自分の考えを書くこと、話すことを繰り返し行う。
- ③主体的・対話的で深い学びの実現
 - ペア学習やグループ学習の機会を増やし、他者と交流する中で思考をより深める。
 - 体験的な学習を推進し、主体的に学ぶ意欲を育てる。

豊かな心

- ①人権教育の計画的な推進
 - 自分も友達も大切にすることを育てる。
- ②道徳的心情を高め、実践する子どもの育成
 - よいと思うことを、進んで行動する実践力を育てる。
- ③特別支援教育の推進(特別支援教育を通常学級にも生かす)
 - 学習の流れの見通しをもたせ、モデルやヒントの提示、動作や作業を通した学習を行い、成功体験を積み重ねる。
 - 振り返りで自分の伸びを意識させ、自己肯定感を高める。
- ④多様性を認め、協働して活動できる子どもの育成
 - 多様な仲間を認め合い、力を合わせてよりよい学校生活を構築しようとする態度を育てる。
- ⑤あいさつ、清掃を自ら進んでする子どもの育成
 - PBSを推進し、自ら実践する行動力を育てる。

健やかな体

- ①基本的な生活習慣の確立
 - 家庭と連携し、早寝・早起き・朝ごはんを奨励し、健康の保持増進を図る。
- ②運動の楽しさを知り、進んで運動する子どもの育成
 - 体育学習の工夫と充実を図り、豊かなスポーツライフの実現へつなげる。
 - 体操、水泳、陸上、駅伝の練習に積極的に参加させる。
 - 運動や外遊びを奨励し、肥満解消につなげる。
- ③食育の推進
 - バランスのとれた食事の大切さを理解させ、食生活に生かす。
 - 食べ物を通した命のつながりを理解させ、自然の恵みに感謝する心を育てる。

地域との連携、コミュニティ・スクールの推進

- 学校運営協議会、学校支援隊との連携を深める。
 - ・地域とともに交通安全指導等を行い、適切な安全行動をとる子どもを育成する。
 - ・読み聞かせを推進し、地域ぐるみで読書の生活化を図る。
 - ・授業支援を推進し、学力や技能の向上等を図る。
- 学校評価を積極的に活用し、開かれた学校経営を行う。
- 地域自主防災会と連携し、地域防災学習を実践する。

中学校区のこども園や学校との連携、チェーンスクールの推進

- みのだ認定こども園、昼間小学校、三好中学校との連携を推進する。
 - ・小中交流学习の実施
 - ・保小交流学习の実施
 - ・保小中の教職員間の連携強化を図る。